

特別支援学級（知的障がい） 算数科学習指導案

日時 令和元年9月26日（木）5校時
 児童 1学年 男子 1名 6学年 男子 1名 計2名
 授業者

《第1学年》

1 単元名 「なかまづくりとかず」

2 指導にあたって

1年生は男子1名が学習している。生活経験が少ないことから、教師の言葉掛けまたは直接的な支援を受けながら、基本的な行動の一つ一つを着実に身に付けられるよう取り組んでいる。

算数の学習では、本児の特性を考慮し、生活に結び付いた具体的な活動を学習活動の中心に据えている。1から3までの数を数え、数量と数詞、数字を対応させることができるが、それ以上は「たくさん」と表現している。本単元では具体物から算数ブロックなどの半具体物を媒介としながら、集合の要素と数詞、数字などを1対1対応させて、物の数を数える学習を行い、5までの数を理解し用いることができるよう指導を行いたい。

《第6学年》

1 単元名 「比べ方を考えよう」（5年 下）

2 指導にあたって

6年生は男子1名が学習している。算数の学習では、本児の特性を考慮し、得意としている計算領域を中心に組みませ、意欲を引き出している。本児はたし算、ひき算、かけ算九九、2位数×2位数のかけ算などについて正しく答えを出すことができる。しかし、わり算においては時間が経つと、筆算の形式や手順を忘れてしまうことがあるので、定期的に復習をしている。

レディネステストの結果から、「平均」という言葉は聞いたことがあるものの、それが何を意味しているものなのか、生活のどんな場面で使われているのかを意識したことがない様子であった。本単元では「同じ大きさの数量にならす」という平均の意味とその求め方、および単位量当たりの大きさについて理解し、生活に結び付けられるよう指導を行いたい。

3 単元計画

《第1学年》

* 研究内容(2) 評価問題を位置付けた指導過程

① 評価項目の観点から

	目標	主な評価規準	評価問題と 評価項目の観点
5までのかず			
1	動物や果物、野菜などに興味をもつことができる。	【関】好きな動物などを指差したり、名前を言ったり、仲間分けをしたりする。	
2	「し」の数量と数詞、数字が対応していることを知り、4のものの数を数えることができる。	【知】数量と数詞が対応していることを理解している。	知:いちごの模型 いちごを4並べる。
3		【知】数量と数詞、数字が対応していることを理解している。	知:いちごの模型、数字カード 具体物と数字を対応させる。
4		【技】具体物や半具体物を4数え、数字と対応させることができる。	技:絵カード、プリント 半具体物と数字を対応させることができる。

5	「ご」の数量と数詞、数字が対応していることを知り、5のものの数を数えることができる。	【知】数量と数詞が対応していることを理解している。	知:いちごの模型 いちごを5並べる。
6		【知】数量と数詞、数字が対応していることを理解している。	知:いちごの模型、数字カード 具体物と数字を対応させる。
7		【技】具体物や半具体物を5数え、数字と対応させることができる。	技:絵カード、プリント 半具体物と数字を対応させることができる。
8 本時	1～5を数え、数量と数詞、数字を対応させることができる。	【技】1～5までの具体物や半具体物を数え、数字と対応させることができる。	技:プリント ブロックを置き、数を数え、数字と対応させることができる。
9			
10			
11	4～5の数字を正しく書くことができる。	【技】4～5の数字を書くことができる。	技:プリント 手本を見ながら数字を書くことができる。
まとめ			
12	具体物の数を数え、その数を数字で書くことができる。	【技】具体物の数を数え、その数を数字で書く。	

* 研究内容(2) 評価問題を位置づけた指導過程

《第6学年》

① 評価項目の観点から

	目標	主な評価規準	評価問題と 評価項目の観点
平均			
1	「平均」の意味と求め方について理解する。	【関】平均を計算で求める方法を考えようとしている。	
2		【技】平均を計算で求めることができる。	
3 本時	分離量の平均値を小数で表すことができる。	【技】平均を計算で求めることができる。	技:プリント わり切れるまでわり進み、平均を求めることができる。
4	値に0がある場合の平均の求め方を理解する。	【知】値に0がある場合、0も含めて平均を求めることを理解している。	知:P6Δ5 値に0がある場合の問題で正しく式に表しているものを選ぶ。
5	平均から全体量を求める方法を考える。	【考】平均の意味や数直線を基に、平均から全体の量を推測する方法を考え、説明している。	考:P4Δ3、4 数直線に数量の関係を表現し、説明する。
6	算数的活動を通して学習内容の理解を深め、興味を広げる。	【関】学習内容を適切に活用して、活動に取り組もうとしている。	
7	学習内容を適用して問題を解決する。	【技】学習内容を適用して問題を解決することができる。	
単位量あたりの大きさ			
8	面積、匹数が異なる場合の混み具合を比べようとしている。	【関】混み具合は2量の割合としてとらえられる量であることに気づき、面積、匹数が異なる場合の混み具合の比べ方に取り組もうとしている。	

9	面積、匹数が異なる場合の混み具合の比べ方を理解する。	【知】単位量当たりの大きさを用いて比べることの意味を理解している。	知:P13△1 単位量がそろっていない問題を出し、なぜ比べることができないのか理由を選択する。
10	「人口密度」の意味とその求め方を理解する。	【技】人口密度を求めることができる。	技:P14△3 簡単な数に置き換えて人口密度を求めることができる。
11	単位量当たりの大きさを用いて、問題を解決できる。	【技】単位量当たりの大きさを用いて、2つの資料を比べることができる。	技:P15△5 数直線に数量の関係を表現し、2つの資料を比べることができる。
まとめ			
12	学習内容を適用して問題を解決する。	【技】学習内容を適用して問題を解決することができる。	
13	算数的活動を通して学習内容の理解を深め、興味を広げる。	【関】学習内容を適切に活用して、活動に取り組もうとしている。	
14	学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	【知】基本的な学習内容を身に付けている。	

4 本時について

《第1学年》

* 研究内容(2) 評価問題を位置付けた指導過程
② 授業構成の考え方

(1) 授業構成の考え方【技能】

本時の目標	1～5を数え、数量、数詞、数字を対応させることができる。
-------	------------------------------



まとめ	○■1 ○■■2 ○■■■3 ○■■■■4 ○■■■■■5
課題	かぞえよう



評価問題	(ねらい) ブロックを置き、数を数え、数字と対応させることができる。 (評価問題) 「果物の数をブロックを使って数えましょう。」
------	---



交流活動	(ねらい) 教師の前で数を数えることで理解を深める。 (視点) 「果物の数をブロックを使って数えましょう。」
------	---



集団解決	(ねらい) 具体物や半具体物を5まで数えることができる。 (手立て) 教師と確認をする。
------	---

4 本時について

《第6学年》

* 研究内容(2) 評価問題を位置付けた指導過程
② 授業構成の考え方

(1) 授業構成の考え方【技能】

本時の目標	分離量の平均値を小数で表すことができる。
-------	----------------------



まとめ	平均では小数で表せないものも、小数で表す場合がある。
課題	1試合の平均の得点を求めよう。



評価問題	(ねらい) わり切れるまでわり進み、平均を求めることができる。 (評価問題) ① 読んだ本の冊数						
	月	4	5	6	7	8	9
	冊数(冊)	5	6	4	6	7	5
	② 欠席者数						
	曜日	月	火	水	木	金	
人数(人)	1	2	1	1	3		
③ 枝豆の収穫量							
曜日	月	火	水	木	金		
個数(個)	6	8	7	11	9		



交流活動	(ねらい) 気を付けたことを伝えることで理解を深める。 (視点) 「なぜ、平均を小数で表してよいのですか。」
------	---



集団解決	(ねらい) 分離量でも平均値は小数で表すことができることを理解する。 (手立て) わり切れるまでわり進むことを確認する。 平均を小数で表してよいことを視覚的に理解させる。
------	---

(2) 展開

第1学年			第6学年				
段階	教師の支援○と評価● 研究内容にかかわって 内容(1) 内容(2)	学習活動	学習形態		学習活動	教師の支援○と評価● 研究内容にかかわって 内容(1) 内容(2)	段階
つかむ 2分	○絵を見てどんな動物がいるか確認する。	1 問題把握 1～5匹の動物の絵 2 課題把握 かぞえよう。	直接	間接	1 問題把握 次の数は、野球チームの8月と9月の試合の得点を表したものです。 8月 1, 4, 5, 3, 2, 3 9月 3, 2, 4, 2, 5 2 課題把握 1試合の平均の得点を求めよう。	○導入で、下学年がどのような問題に取り組むか知る。 ○分かっていること、求めることを確認する。	つかむ 5分
見通す 2分	○掲示物や教師とのやり取りの中で、前時の学習をふりかえらせる。	3 解決の見通し ・ブロックを並べて数えることを想起させる。 ・数量と同じ数字カードを置くことを想起させる。					
考える 22分	○わからないときは一緒に数える。	4 自力解決 ・プリントの動物にブロックを並べながら数える。 ・数量と同じ数字カードを置く。	間接	直接	3 解決の見通し ・平均＝合計÷個数であることを想起する。	○掲示物等を使い、前時までの学習をふりかえらせる。	見通す 3分
		5 集団解決 ・教師の前でやってみる。	直接	間接	4 自力解決 ・8月と9月の平均の得点を求め、比べる。	○わからないときは一緒に考える。	考える 22分
		6 類似問題 ・1～5匹の虫を数える。	間接	直接	5 集団解決 ・自分の考えを伝える。 ア 9月 (3+2+4+2+5)÷5=3 (小数点以下求めない) イ 9月 (3+2+4+2+5)÷5=3.2	○わり算はわり切れるまでわり進むことができることを確認する。 ○平均を小数で表してよいことを視覚的に理解させる。	

			間接	直接	6 まとめ 平均では小数で表せないものも、小数で表す場合がある。	○まとめを書かせる。	まとめる 3分																																														
まとめる 3分	○具体物を提示しながら確認する。	7 まとめ ○■ 1 ○■■ 2 ○■■■ 3 ○■■■■ 4 ○■■■■■ 5	直接	間接	7 評価問題 ① 読んだ本の冊数 <table border="1"> <tr> <td>月</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>冊数 (冊)</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> </table> ② 欠席者数 <table border="1"> <tr> <td>曜日</td> <td>月</td> <td>火</td> <td>水</td> </tr> <tr> <td>人数 (人)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>曜日</td> <td>木</td> <td>金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人数 (人)</td> <td>1</td> <td>3</td> <td></td> </tr> </table> ③ 枝豆の収穫量 <table border="1"> <tr> <td>曜日</td> <td>月</td> <td>火</td> <td>水</td> </tr> <tr> <td>個数 (個)</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>曜日</td> <td>木</td> <td>金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数 (個)</td> <td>11</td> <td>9</td> <td></td> </tr> </table>	月	4	5	6	7	8	9	冊数 (冊)	5	6	4	6	7	5	曜日	月	火	水	人数 (人)	1	2	1	曜日	木	金		人数 (人)	1	3		曜日	月	火	水	個数 (個)	6	8	7	曜日	木	金		個数 (個)	11	9		○まとめを書かせる。 技 ●平均を計算で求めることができる。 内容(2) わり切れるまでわり進み、平均を求めることができる。	深める 19分
月	4	5	6	7	8	9																																															
冊数 (冊)	5	6	4	6	7	5																																															
曜日	月	火	水																																																		
人数 (人)	1	2	1																																																		
曜日	木	金																																																			
人数 (人)	1	3																																																			
曜日	月	火	水																																																		
個数 (個)	6	8	7																																																		
曜日	木	金																																																			
個数 (個)	11	9																																																			
深める 16分	技 ●具体物や半具体物を1～5まで数えることができる。 内容(2) ブロックを置き、数を数え、数字と対応させることができる。 内容(1) 教師の前で数を数えることで理解を深める。	8 評価問題 ・1～5個の果物の絵 9 交流活動 ・教師の前でやる。	間接	直接	8 交流活動 ・教師に考え方を伝える。 ・計算の際、気を付けたことを伝える。	内容(1) 気を付けたことを伝えることで理解を深める。																																															

(3) 板書計画

第1年学年

かぞえよう。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

第6年学年

次の数は、野球チームの8月と9月の試合の得点を表したものです。

8月 1, 4, 5, 3, 2, 3

9月 3, 2, 4, 2, 5

平均=合計÷個数

8月

$$(1 + 4 + 5 + 3 + 2 + 3) \div 6 = 3$$

9月

$$(3 + 2 + 4 + 2 + 5) \div 5 = 3.2$$

答え 9月

1試合の平均の得点を表そう。

$$\begin{array}{r} 3.2 \\ 5 \overline{) 16} \\ \underline{15} \\ 10 \\ \underline{10} \\ 0 \end{array}$$

小数で表せないものも、平均では小数で表す場合がある。

チャレンジ

読んだ本の冊数

月	4	5	6	7	8	9
冊数	5	6	4	6	7	5
(冊)						

$$(5 + 6 + 4 + 6 + 6 + 7 + 5) \div 6 = 5.5$$

答え 5.5冊